

# 景気動向調査

「(山形・秋田)県内企業の景気動向調査」(概要)

## 1 調査の目的

山形・秋田県内に本社を置く法人企業を対象に、各社の業況の現状と今後の見通しについて調査を行い、景気の動向を把握することを目的とする。

## 2 調査の方法

すべての質問事項についてDI (Diffusion Index) 値を求める。たとえば、各社の業況を示す「自社の業況DI値」の算出方法は「自社の業況DI値」= (「良い」と回答した企業の割合) - (「悪い」と回答した企業の割合)

## 3 調査期間

平成24年11月1日(木)～14日(水)

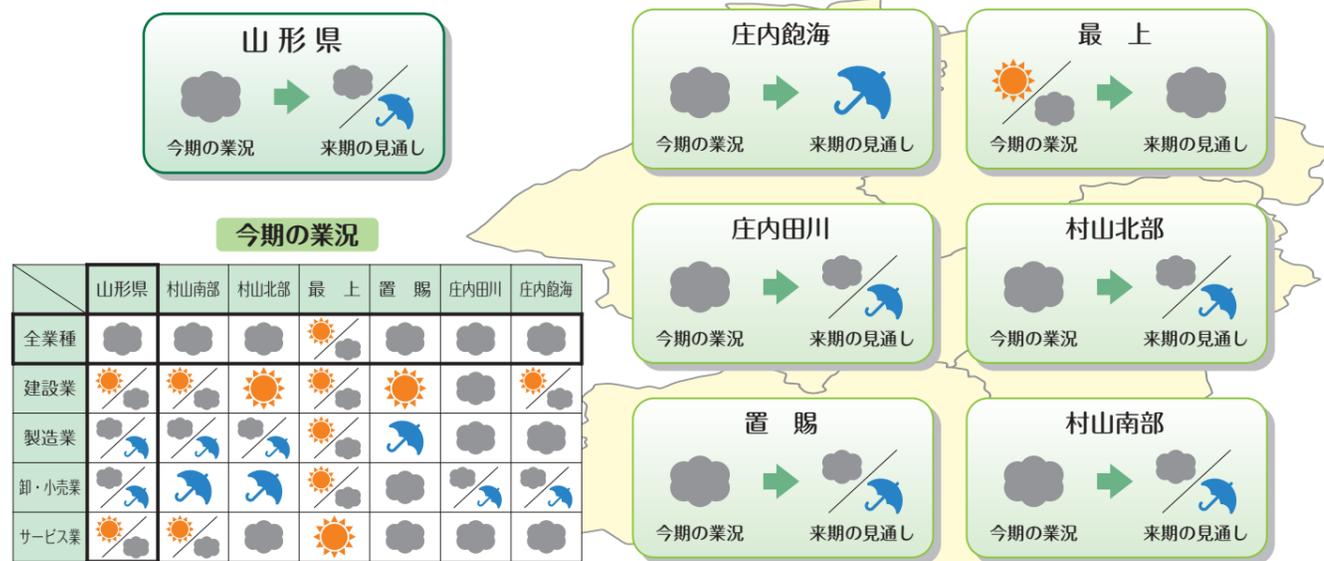
## 4 サンプル概要

アンケート対象企業 山形755社、秋田584社  
有効回答数 山形504社、秋田405社  
回答率 山形66.8%、秋田69.3%

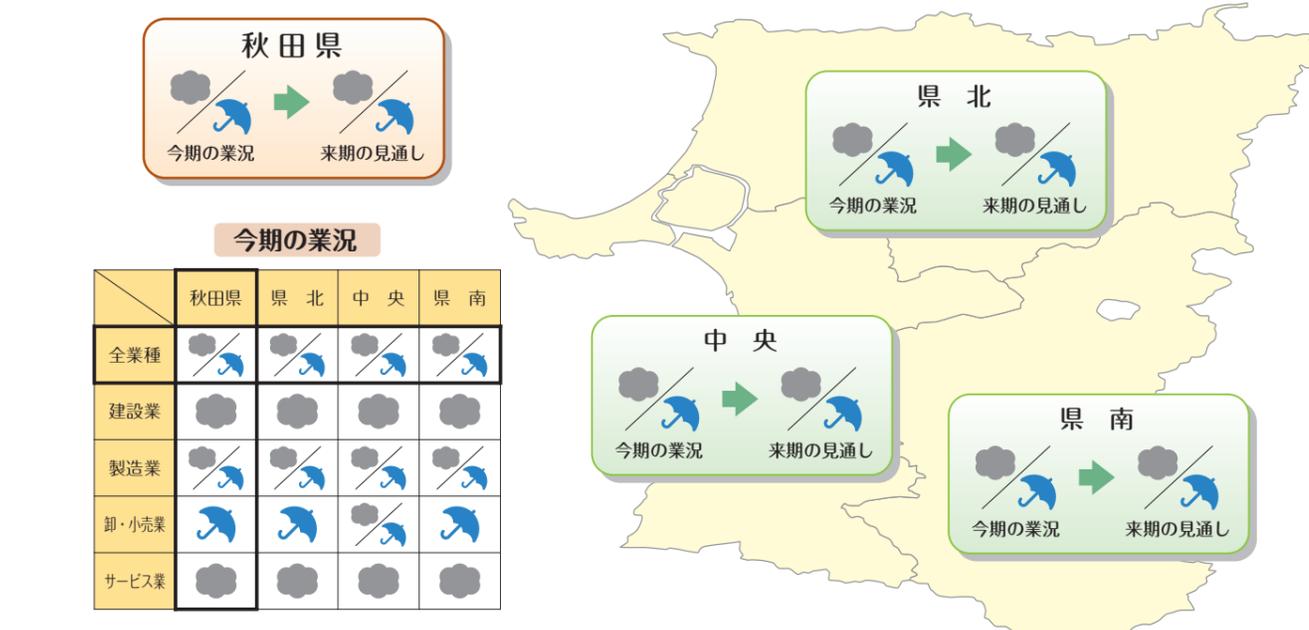
特に好調 DI≥30	好調 30>DI≥10	まあまあ 10>DI≥10	不振 ▲10>DI≥▲30	きわめて不振 ▲30>DI

## 景気天気図

第33回「山形県内企業の景気動向調査」



第6回「秋田県内企業の景気動向調査」

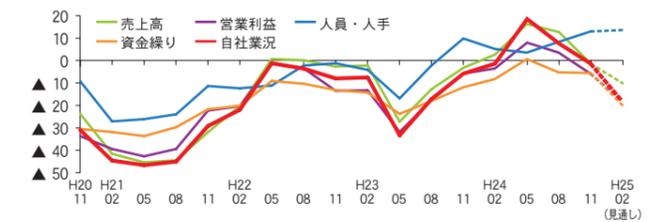


## ▶ 自社業況の動向

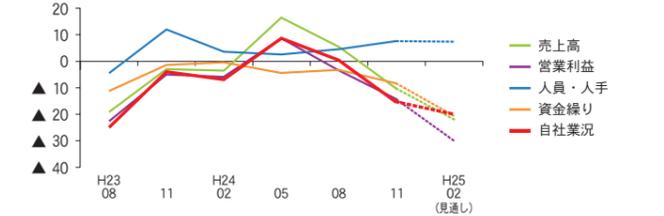
**山形県**の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲1.2(前回調査比8.9ポイント下落)と2期連続の悪化となっており、3期ぶりに「悪い」超に転じ、**県内景気の後退感に一層の強まりが見られる**。先行き見通しは▲18.2(今回調査比17.2ポイント下落)と、さらに大幅悪化する見込みとなっている。

**秋田県**の業況は、自社の業況判断を示す「自社の業況DI値(前年同期比)」が▲15.8(前回調査比16.6ポイント下落)と2期連続の悪化となっており、3期ぶりに「悪い」超に転じ、**県内景気は後退色を強めている**。先行き見通しは▲20.0(今回調査比4.2ポイント下落)と、一層の悪化が見込まれている。

図表1 山形「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表2 秋田「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

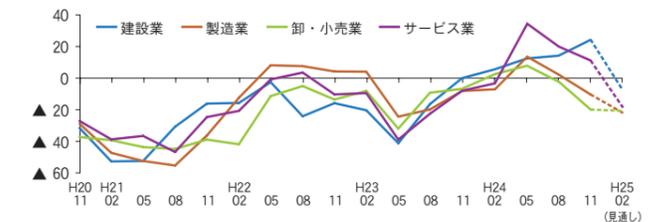


## ▶ 業種別の動向

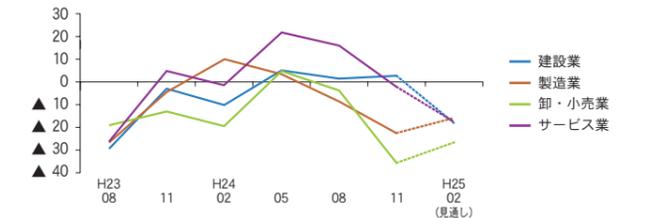
**山形県**の業況を業種別にみると、建設業以外の業種がすべて悪化となった。**建設業は震災復興需要などを背景に上向きつつあるも、他の業種では悪化が鮮明になってきている**。先行き見通しは全業種で下落し、「悪い」超になる見通しとなっている。特にこれを「良い」超の建設業とサービス業の悪化幅が大きい。

**秋田県**の業況を業種別にみると、建設業以外の業種がすべて悪化となった。**建設業は公共工事の緩やかな持ち直しや一部の復興関連需要などを背景に底堅い状況ながら、他の業種では悪化傾向が顕在化している**。先行き見通しは全業種で「悪い」超の見込みとなっている。製造業と卸・小売業では若干の改善期待が窺えるものの、建設業とサービス業では悪化の見通しとなっている。

図表3 山形・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表4 秋田・業種別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

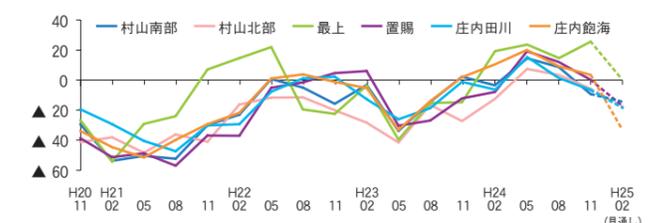


## ▶ 地域別の動向

**山形県**の業況を地域別にみると、村山南部で▲9.2(前回調査比17.9ポイント下落)、村山北部で▲5.8(前回調査比9.2ポイント下落)、最上で25.5(前回調査比10.9ポイント上昇)、置賜で0.0(前回調査比11.9ポイント下落)、庄内田川で▲6.6(前回調査比7.7ポイント下落)、庄内飽海で3.1(前回調査比6.0ポイント下落)となり、**最上以外の地区は前回調査と比較して悪化となった**。先行き見通しは全地域で悪化の見通し。

**秋田県**の業況を地域別にみると、県北で▲20.5(前回調査比26.8ポイント下落)、中央で▲13.8(前回調査比17.1ポイント下落)、県南で▲17.1(前回調査比9.6ポイント下落)となり、**すべての地域で前回調査と比較して悪化となった**。先行き見通しは県北で幾分改善が見込まれているものの、中央と県南はマイナス幅が拡大しており、悪化の見通しとなっている。

図表5 山形・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移



図表6 秋田・地域別「自社業況DI値(前年同期比)」の推移

